

# 59 富山大学

University of Toyama

## 富山大学フォーミュラプロジェクト

TUF

<http://tuf.sub.jp/>

## 3度目の正直になりたかった



### 今回の総合結果・部門賞

●総合 73位

### Profile チーム紹介・今までの活動

マシン搬入3年目。今年こそは大会の会場で走る姿が見たかったです。チームの主要メンバーが卒業し、この先どうしたらいいのか分からず、苦しい1年でした。2年生と3年生が主要メンバーとなり、知識も技術も足りずこのような結果となってしまったことがとても悔しいです。

### Team-member チームメンバー

芦川 実花 (CP)

会田 哲夫 (FA)

藤田 紘也、渥美 樹、中島 健太、星野 峻、

高橋 良尚、三川 詩乃、谷津倉 克弥、

大橋 莉央、山田 章史

## Presentation

### プレゼンテーション

マシンを搬入して3年目。今年こそは車検を通過することが目標でした。しかし、マシンの製作が大幅に遅れてしまい、シェイクダウンに間に合うかも危うい事態に陥りました。シェイクダウンには間に合ったものの、それは走っただけで、マシンはとんでもない代物だったことが、大会会場で判明しました。私たちのマシンはシェイクダウンをするには危険すぎるマシンでした。つまり、基本的なことすら疎かにして製作をしてしまっていたのです。そうなった原因としては、技術や知識の問題ではなく、レギュレーションを読んだり車検シートを細かくチェックすることが足りなかったことが挙げられます。いちばん痛感したのは、各班・メンバー同士の意志疎通ができていなかったことでした。どの班が何をやったか、それがしっかりできているか、トータルでチェックする体制が整っていなかったのが致命的だったのでしょうか。

今、今年の大会レビューを綴っていますが、次の文は去年の大会レビューから抜粋しました。“やはり、私たちは日程の作成やスケジュールの管理を疎かにしていました。マシンを製作することも重要ですが、これからは余裕のある日程や徹底したスケジュール管理ができなくては、来年のマシンを製作することは不可能ですので、しっかりやっていきたいです。”

今年も同じ反省となり、とても情けないです。

## Participation report

### 参戦レポート

今年の大会は去年達成できなかった動的審査に参加することが目標でした。しかし、結果は車検通過できず、参加は叶いませんでした。

初日のデザイン審査では、機能の説明ではなく、搭載したことで何がどのようにどれだけ良くなったかを数値的に明示するべきであると感じました。また、担当者不在であるとまったく話ができないことや、マシン全体を報告できないことが問題だと思いました。

2日目のコスト審査では、報告書と異なったところや、追加資料を提出していなかったところで、多くの指摘を受けました。粗末な報告書であったため、評価が悪かったです。またリアルケースシナリオの確認不足が非常に痛いミスとなりました。

3日目以降は車検通過に向けて調整を行っていました。車検に出したところ、レギュレーション違反が多くありました。レギュレーション違反は数えきれないほどで、愕然としました。車検を通すためにこれらの修正を全員で行ないましたが、間に合わず車検を通すことができませんでした。

今大会の反省はレギュレーションを把握しできていなかったことや、基本的なことすらできていなかったことが大きな問題であったと思います。私たちはPDCAサイクルのDoまでしかできていなかったため、来年はCheckとActまで達成したいです。

そしてこれも去年と同じような反省となり、とても情けないです。

## Sponsors スポンサーリスト

石金精機、NTN、F.C.C.、FCデザイン、岡島パイプ製作所、株式会社道具、大成、富山新聞、ソリッドワークス・ジャパン、Tan-ei-sya、深井製作所、不二越、本田技研工業、ミスミ

**Team-Movie** <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/59.html>